



眼底カメラ検査 ~目の病気の早期発見につながる重要な検査

所長 今村 浩

今回は眼底カメラ検査のお話です。あまり聞きなれない検査ですが、目に強い光を当て、眼の奥にある眼底（網膜）の血管の状態や出血の有無などを調べるもので、坂本民主診療所では長年実施しています。職場などの定期健診のなかで、法律で定められた目の検査は視力検査だけなので、視力検査で特に異常がない方や、「見ること」について困っていない方は、眼科にはなかなか受診する機会がありません。また、「はっきりと、明るく、あざやかに、広い視界」が見える方に、「目の健診を受けましょう」と言っても、なかなかその気になれないものです。でも、目の病気の中には、初期から中期までは自覚にとぼしいものがあります。「ぼんやりする、暗く感じる、かすんで見える、視界が狭い」などの症状が徐々に出ることもあれば、

突然現れる場合もあります。

そこで眼底検査の登場です。眼底カメラは眼科のなかでも特に重要な検査です。眼底には、目や全身の病気の早期発見につながる情報（所見）が詰まっています。検査では眼底所見、特に血管、網膜、視神経が正常か否かを確認します。正常でない所見が確認できれば、それが目の病気の早期発見につながります。発見できる主な病気は、①糖尿病性網膜症、②白内障、③動脈や静脈の閉塞、④緑内障の一部などです。ただし、眼底カメラ検査では眼圧が測れないため、初期の緑内障の発見は困難です。

眼底カメラ検査は特定健康診査にも含まれていませんので、健診時にオプションでおすすめしています。40歳を過ぎれば年に一度は受けてみましょう。

★インフルエンザ予防接種の予約受付中

- ◆65歳以上の大津市民：1,400円
- ◆友の会会員（同一世帯）：2,600円（税込）
★今年度の会費納入が必須です
- ◆一般（税込）：大人3,600円、13歳未満3,100円

★新型コロナ予防接種は1月から再開予定

当院での2024年1月、新型コロナ予防接種の予約受付は12月中旬ごろ開始予定です。ご希望の方は、これまで通り大津市のコールセンター（電話0570-002-092）かインターネット「ワクチン予約サイト」からご予約をお願いします。

★特定健康診査を受けましょう

特定健診の期限は、大津市国保や後期高齢者保険の方は1月末までです。受診券をお持ちの方は、肺がん検診、大腸がん検診と合わせて受けましょう（予約制）。

《医師体制変更のお知らせ》

福田暁子医師が12月末で退職されることになりました。

2024年1月から火曜と金曜の午前外来は富田（とみた）ふじ子医師が担当します。月曜と木曜の午前外来は今村医師のみとなります。

患者様には大変ご迷惑をおかけして申し訳ございません。ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

10月の太陽光発電量 **1,050kwh**CO2削減量… 510kg
杉の木の年間吸収量 約36本分